

第27回 原子力委員会臨時会議議事録

1. 日 時 1995年7月28日(金) 10:00～
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題
 - (1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について
 - (2) 動力炉・核燃料開発事業団大洗工学センターの原子炉の設置変更(重水臨界実験装置及び高速実験炉原子炉施設の変更)について(一部補正)
4. 審議事項
 - (1) 新型転換炉実証炉建設計画の見直し要望について
標記の件について、社団法人日本電機工業会から、
 - ・電気事業連合会からの要望は、メーカーにとっても非常に残念である。
 - ・当初は、平成元年頃に着工する予定であったが、その後、毎年一年づつ延びる形でここまできた。そのためにも、抜本的な設計変更ができないままここまできてしまった。
 - ・大間のサイトを生かすためにも、できるだけ早期の結論とりまとめを期待する。などの説明があり、審議した結果、
 - ・現行設計について、抜本的改良の余地はどこにあるか。
 - ・設計を抜本的に見直して、実証炉、実用炉へと向かった場合、軽水炉と比較してどの程度の経済性があるか。
 - ・新型転換炉と他の炉型を比べた場合、物量的、機能的にどれくらい違いがあるか。
 - ・新型転換炉開発でこれまでに得られた技術で今後役に立つ技術知見には、どのようなものがあるか。等の意見があり、引き続き審議することとした。
また、本件のより詳細な検討を行うため、経済性グループ(担当:依田委員)、核燃料リサイクルグループ(担当:藤家委員)及び研究開発グループ(担当:田畑委員)の3つの検討グループを設置することが確認された。
 - (2) 議事録の確認
第23回原子力委員会定例会議議事録(案)、24回原子力委員会臨時会議議事録(案)、第25回原子力委員会定例会議議事録(案)及び

第26回原子力委員会臨時会議議事録（案）が了承された。

- (3) 動力炉・核燃料開発事業団大洗工学センターの原子炉の設置変更（重水臨界実験及び高速実験炉原子炉施設の変更）について（一部補正）

平成7年7月13日付け7安（原規）第189号をもって、内閣総理大臣から通知のあった標記の件について、科学技術庁から説明がなされ、引き続き審議することとした。

注）本件は、平成6年11月2日付け6安（原規）第9号をもって、諮問を受けた標記申請について、申請書の本文及び添付書類の記述の適正化を図るため、一部補正を行うものである。